



令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

爽秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に、「国語」・「算数（数学）」「英語（中学校のみ）」の学習状況と児童・生徒の学校や家庭での生活習慣や学習環境等についての調査が行われました。今回の調査結果は、児童の学力の限られた部分ではありますが、届いた結果をもとに、学習や生活の指導に活かせるよう、教職員全体で調査結果を分析して話し合いをもちましたので、分析の結果と今後の方針をお知らせいたします。

1. 教科に関する調査（国語・算数）について

国 語

☆概ね力がついていたこと

- ・課題に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたい内容を明らかにすること。
- ・書くことに必要な、情報と情報との関係付けの仕方や、必要な語句と語句の表し方を理解すること。

☆これから力をつけていきたいこと

- ・図表に書かれている内容から、気付いたことや分かることを文章にまとめること。
- ・自分の考えを条件に合わせた文章で表現すること。



算 数

☆概ね力がついていたこと

- ・円柱の直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係を理解すること。
- ・数量の関係を口を使った式に表すことや円グラフの特徴を理解して割合を読み取ること。

☆これから力をつけていきたいこと

- ・計算に関して成り立つ性質を活用したり、球の直径と立方体の一辺の長さの関係を捉えたりすること。
- ・示された情報を基に必要な数値を読み取り、言葉と数を用いて記述して説明すること。



国語・算数ともに、学習した知識や技能を活かして自分の考えを表現することが苦手な傾向が明らかになりました。また、途中での諦めなどからくる無回答率も高い傾向にあります。学校の学習の中で児童の学習意欲を持続できるような学習課題の設定や、知識を活用する問題への取組を強化していきたいと考えております。引き続き、学校では基礎学力を定着させるとともに、市の進める協同的探究学習を取り入れ、クロームブックも有効に活用しながら「わかる学力」の育成をめざして取り組んでまいります。また、個々に応じた学習への取組についても研究を進めてまいります。

2. 生活や学習の状況（児童質問紙）について

（1） 自己有用感・自尊感情・規範意識等に係る項目

- ・「自分にはよいところがある」と回答した児童は79.2%で、兵庫県や全国の割合を約5%下回っています。児童一人ひとりの個性を認め、自己肯定感を高めていきます。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童は97.3%、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童は87.4%で多くの児童が社会貢献を願っています。児童なりに地域や社会の中で役に立てる機会を積極的に取り入れていきたいと思っています。
- ・「友達関係に満足している」と回答した児童は91.9%「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童は97.3%と高い割合となっています。その反面、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」と回答した児童は52.2%で、兵庫県や全国の割合を約15%下回っています。相談しやすい学校となるよう一層教育相談に力を入れていきます。
- ・「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と回答した児童は84.6%で、兵庫県や全国の割合を約15%も上回っており、しっかりと約束やきまりを守って機器を使えていることが分かります。

（2） 生活リズム・生活習慣にかかわる項目

- ・「朝食を毎日食べている」と回答した児童は70.3%で、県や全国の割合を大幅に下回っています。
- ・「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」という質問に対し、4時間以上と回答した児童が27.0%おり、兵庫県や全国の割合を約10%上回っています。また、「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか」という質問に対しても、4時間以上と回答した児童が20.7%おり、こちらも兵庫県や全国の割合を約9%上回る結果となりました。普段からかなりの多くの時間をゲームや動画視聴などに費やしており、健康への影響が懸念されます。

（3） 学習に対する状況

- ・平日、学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上勉強をしている児童は33.3%で、兵庫県や全国の割合を20%以上、下回っています。また休日、1日当たり2時間以上勉強をしている児童は10.8%で、兵庫県や全国の割合を10%以上、下回っており、学校以外での学習時間には、大きな差があることが分かります。主体的に学習に取り組むために効果的な取組を推進していきます。
- ・「道徳科の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した児童は78.3%で、「考え、議論する道徳」の実践を一層推進していきます。
- ・「国語科の勉強が好き」と回答した児童は53.1%でした。また、「国語科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童は96.4%と高く、児童の国語科の学習内容の社会生活における汎用性への関心の深さが感じられます。
- ・「算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童は91.0%であるのに対し、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童は67.5%にとどまっており、算数科に対する児童の思いと理解度の間に乖離が見られます。今後も、引き続きわかる算数授業への取組を進めてまいります。

「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」等では、「思いやりを大切に」めざしている「おのえっ子」らしさが表れる嬉しい結果となった反面、生活リズムでは心配が拭えない結果となりました。上記に掲載しておりませんが、GIGA スクールで導入された一人一台端末を尾上小では授業でも有効に活用できていることが児童の回答から明らかとなる結果でした。今後は、一人ひとりを大切にしたい個別最適な学びの実現に向けてさらに研究を進めてまいります。

これからもご家庭と連携しながら「進んで学び たくましく生きる 心豊かな尾上っ子の育成」に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。